



◆ 暑熱対策はお早めに！ (豚編)

「地球温暖化」が取り沙汰され、異常気象が続く昨今。今年も5月上旬には夏のような日もあり、暑熱被害が心配される時季がやってきました。早めに暑熱対策の準備をして被害を未然に防ぎましょう。

畜舎環境対策

- ・ 窓や天窗、サイドカーテンは全面開放し、通風に努める。
- ・ よしずや寒冷紗で直射日光をさえぎる。
- ・ 扇風機、ポリダクトを設置し換気・送風に努める。複数の扇風機を使って送風する場合は同一方向に送風し、畜舎全体の空気が流れるようにする。
- ・ 畜体へ直接送風する場合は、熱の放出が多い首・肩から背にかけて風を当てるようにする。
- ・ 屋根への散水や工業用消石灰等の塗布などを行い舎内温度の低下に努める。
- ・ 天井の低い畜舎では、逆に窓を閉じて一方から空気を排出(負圧換気)することにより、畜舎内に新鮮な空気が流れ、防暑・換気効果が高い(トンネル換気)。
- ・ ペットボトルを利用した氷水滴下や細霧噴霧も効果的(湿度が高くなりすぎないよう注意)。

飼養管理対策

- ・ 出来るだけ密にならないように。
- ・ 常に新鮮な水(可能なら冷水)が飲めるようにする(給水器の作動状況確認)。
- ・ 夜間などの涼しい時間帯の飼料給与。
- ・ 嗜好性・栄養濃度の高い飼料の給与で食欲と栄養を確保する。



新体制スタート

令和6年(2024年)度がスタートしました。今年もよろしくお願ひいたします。

所長 青木 (新)	保健衛生課 課長 中山 (新)	防疫課 課長 三木 (新)
畜産経営の安定を図るとともに、安全・安心な県産畜産物を食卓にお届けするため、家畜伝染病の予防や家畜衛生の推進に取り組みます。また、地域の特色ある畜産物生産を推進するため、衛生対策を中心とした飼養管理の支援を行います。	庶務会計、動物薬事、乳質、繁殖、飼養管理など家畜の生産性向上や改良及びその他を担当する家畜保健衛生所の総合窓口です。	豚熱、鳥インフルエンザ、口蹄疫などの家畜伝染病をはじめ、感染症・疾病の予防・検査については防疫課へご相談ください。